

# 郡上長良川ロータリークラブ

クラブテーマ **楽**

会長：小島正則 副会長：山下 誠 幹事：松森正和

例会日：毎週水曜日 18：30～

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191E-mail：gsrc@abelia.ocn.ne.jp 発行 クラブ会報委員会

## 第2086回 令和4年11月18日(金)

### 本日の行事 3 R C 合同例会

2022-23年度

幹事報告

\* ガバナー事務所より

・メルボルン国際大会日本親善朝食会の案内

\* 地区事務所より

小島正則会長

松森正和幹事

・10月増強状況報告書 拝受

・地区補助金募集の案内とMOU提出について

\* 米山奨学会より ハイライトよねやま

\* 関RCより ガバナー公式訪問について

\*\*\*\*\*

#### 第2085例会報告

#### 会長挨拶

2022~23年度 小島正則会長

皆さんこんにちは。郡上長良川ロータリークラブで今期会長を務めさせていただいております小島正則と申します。地区補助金事業という事で、本日は元西武ライオンズ、中日ドラゴンズの選手でした和田一浩さんに講演をお願い致しました。開催にあたりまして、川地校長先生を始め、小原教頭先生、熊田先生、加地先生、誠にありがとうございました。また生徒の皆様も準備を手伝っていただきました。司会もしていただきましてありがとうございます。ロータリーのメンバーも昨日は遅くまで打ち合わせをしていただいております。ありがとうございます。

本日の講演テーマ「夢への階段」という事で、これから生徒の皆さんは卒業されて、自分の思う方向へ進まれると思います。自分のことで恐縮ですが、小学校の4年生の頃に学校の文集を書いた事を思い出しました。私は60歳を過ぎましたが、まだ夢の階段を上る最中です。よく先輩方に言われましたが、好きこそもの上手なれという事で、子供のころから車が好きで、趣味は車で事業も自動車屋をやっております。皆さんも好きな事を目指していただければ、きっと良い事に繋がると思います。

皆さんの未来の成功と、講演をしていただく和田さんのご活躍と中日ドラゴンズのリーグ優勝・日本一を目指していただきたいと思います。本日はよろしくお祈りします。

#### 講師紹介

郡上北高等学校 川地晃正校長

和田さんは岐阜市の出身で県立岐阜商業高校を出られて東北福祉大学、その後 神戸製鋼で社会を経てドラフト4位で西武ライオンズに入団されました。レギュラー選手として大活躍されてリーグ優勝、日本一という事で、選手として大いに貢献されておりました、2004年アテネオリンピックで日本代表として大活躍されて銅メダルを獲得されています、2006年にWBCに出場されておられます。2008年にFAを行使されて地元中日ドラゴンズに移籍をされました。そこでも主軸として大活躍され、2010年にはMVPに輝いておられます。2015年に2000本安打を達成され名球会入りを果たされ、その後引退をされています。

先ほど校長室で話をしましたが、大先輩にあたる和田貞夫さんは本校の前々同窓会長さんで、おじさまにあられるという事で、郡上市にもゆかりがあり、特に北高校にもゆかりがあるという事で、改めて驚いた次第であります。経歴を話させていただきましたが、和田さんには夢への階段と題しまして皆さんの将来を考えるにあたって、大いに為になる話を伺えるのではないかと私も楽しみに迎えた所です。それでは和田さんとバトンタッチをしていきますので、どうか宜しくお願いします。

#### 和田一浩氏講演会「夢への階段」

こんにちは。只今ご紹介いただきました元プロ野球選手、現在は解説者として今年まで仕事をしていた和田一浩です。どうぞ宜しくお願いします。

僕は2004年のアテネオリンピックに出ています。オールプロで臨んだオリンピックに出場することが出来ました。今日は銅メダルをもってきましたので、今から回りますので僕の話聞きながらこのメダルを見てください。

僕自身、野球ですっここまで来ました。僕は岐阜市で生まれ育ち、当時の岐阜市は空き地が多くて、物心ついた時から野球を始めました。テレビの中でドラゴンズ戦が毎日やっています。大島さん、矢沢さん、田尾さん、僕の幼少期のあこがれの選手で、毎日ドラゴンズのユニフォームを着て試合をしていました。見ているうちに自分もこの選手たちのように野球選手になりたいと思ったのが幼稚園の頃でした。どうやって夢を見つけたらいいか、どういう夢を持ったらいいかと聞かれますが、自分が好きなことが夢に代わりました。ですから僕自身夢を見つけることの大変さというのはなかったです。



日本のプロ野球は高校卒業するときにほとんど指名されます。大体18歳が一つの区切りとなります。僕もプロ野球の選手になりたかったのですが、ドラフトにかかることはありませんでした。プロ野球に入れなかったので大学に行こうと思い、明治大学に野球ならひょっとしたらいけるんじゃないかと思って、推薦試験、一般推薦、一般受験で受けたのですが、3回とも受験失敗しました。3月の終わりの頃に2次募集で、東北福祉大学から野球部に来ないと言われて浪人しないで大学に行けることになりました。周りの人から見ると僕の野球人生は順風に見えていると思いますが、その時はさすがに自分の道というのが見えなくて、自分の進路はどうなるんだろうと生活していたのが今でも思い出します。東北福祉大学がどこにあるか知らなくて、どういった学校が知らないままの状況で行く事になりました。大学からもドラフトに指名されますが、指名されず、社会人野球で2年間プレーして25歳の年に初めてプロ野球に上がることが出来ました。幼稚園からの夢だったので、年齢的にラストチャンスでした。20年間夢を追い続けてやっと叶い、その時には本当にうれしかった思いは今でも忘れません。

指名されてからプロ野球に入るまで約半年くらいあります。プロ野球選手になりたいという夢が最終目標だったので、ドラフトにかかった時点で満足して遊んでしまい体重が10キロほど増えていました。

目標がプロ野球選手でしたから、その先を全く考えていませんでした。目標設定というのがとても甘かったと思います。僕がレギュラーになれたのは30歳の時でした。プロ野球選手の平均引退年齢は分かりますか？なかなか皆さんピンとこないと思いますが、29歳になります。逆に僕がレギュラーを取ったのは30歳です。多分プロ野球選手は沢山いますが、30歳でレギュラー取れたのはほとんどいなかったと思います。

何故30歳になってレギュラーになれたかという話をしたいと思います。僕自身ユニフォームを着れた事に満足感がありました。その時点で向上心がまったくもてませんでした。どうしたらレギュラーになれるのか、へんな自信だけはあり自分ならどうにかなるという気持ちでいたんですが、実際5年間どうにもならなかったです。プロに入るのも大変ですが、今の時期は戦力外通告がある時期で、ドラゴンズは17人ほど戦力外通告がありました。周りの選手がどんどん戦力外通告を受けていくんです。いわゆるクビです。1、2年目は危機感はありませんでしたが、3年目になると自分と同年代の選手がどんどんクビになっていくので、いよいよ自分もクビになるんじゃないかという危機感がありました。それまで気づかなかった時点で自分自身の考えが甘かったと思いますが、そんな時に金森栄治さんというバッティングコーチがきました。その方にバッティングを教えてもらいました。言われたことはただ一つだけで技術的な事ですが、ポイントを近くして打ちなさい、という事でした。この中に野球部が二人いると聞いています。



2年生の子はちょっと壇上に上がってきてもらっていいですか？彼の話聞きながら話をしたいと思います。(バッティングのポイントを確認。生徒着席)

僕自身、もう言われたことをやるくらい切羽詰まった状況なんです。いつクビになるか藁にもすがる気持ちとはまさに当時の心境で、とにかくやり続けるしかない、勝手な思い込みがありました。とにかくそこで打つと、右手が腫れてパンパンになるくらいで、打球もまったく飛ばないです。周りもあいつはなんの練習をしているんだと言われるくらいの練習をしていました。当時のチーフバッティングコーチからは「もうお前のバッティングはお手上げだ」と言われました。金森と二人でやれと匙を投げられました。ただ僕は金森さんを信じてついて行くことにしたんです。丸々1年やった後、規定打席には達しませんでした。3割打つことはできました。3割打つことはプロ野球選手の中では目標にする数字です。3割打ったんですが、ホームランは1本でした。

2年目になりました。同じことをひたすら続けました。そしたら規定打席にはいきませんでした。3割打って16本のホームランを打ちました。2年やり続けたら、自分自身の中で感覚がやっと出てきたんです。自分で積み重ねてきたことは自信になって、3年目で初めてレギュラーを取ることが出来ました。その年は3割打って30本のホームランを打つことが出来ました。チーフバッティングコーチから「俺の見る目がなかった」



と言ってもらえました。成績を残したら周りが僕の事を認めてくれたんです。

僕にとって金森さんの出会いはすごく貴重でした。今までの野球人生を振り返ってみるとかなり大事なことでした。ひょっとしたら僕自身がクビになるかもしれない、この人について行くしかないという状況でタイミングが良く金森さんに出会えたことで、自分の人生が変わったと思います。まさか 2000 本という数字が打てると思っていませんでしたが、その時は金森さんとお会いしなければその数字も出なかったと思います。

オリンピックの話をしたと思います。僕はプロ野球で 2000 試合、出場してきました。どういう時に緊張しますか？とよく聞かれます。僕は毎試合緊張していました。今日は打てるかな、大丈夫かな、いつも不安です。プロ野球は数字の戦いです。打った打たないで数字が変動しますので毎日不安でした。

人生の中で一番緊張したのがオリンピックです。背中に日の丸を背負った時の緊張感はやはり全然違いました。背中に日の丸を背負って聞く国歌は感動すると言いますか、自分の為でなく日本の為という気持ちになりました。当時は監督が長嶋茂雄さんでしたが、倒れられていない状態でした。2004 年アテネオリンピックの長嶋ジャパンの監督代行はキャプテンで今 NHK で解説をされている宮本信也さんがされました。宮本さんはすごいキャプテンでした。簡単に言うと間違っただけの選手にハッキリと間違っているといえる方です。宮本さん自身も人に指摘されにくい程度の行動をしていました。率先してチームを引っ張って動いている人です。人に指摘することは勇気がある事だと思います。嫌われるんじゃないかとか、自分もそうですが、そこで勇気を持って言える人、それが逆に人がついて行ったのではないかと思います。長嶋ジャパンという名前がついていましたが、僕の中では少し宮本ジャパンではないですが、それくらいの感じでした。

オリンピックで金メダルが取れなくて銅メダルでしたが、宮本さんがみんなを集めて「胸を張って帰ろう、日本の皆さんには金を持って帰れなかったが、銅メダルでも十分ではないか、一生懸命やった結果がどうだったから胸を張って帰ろう」と日本に帰ってきました。今でもその時のアテネへ行った 24 人のメンバーとは、その時の絆がとて強いです。僕も色々なチームで野球をしましたが、アテネオリンピックのチームメイトがすごく今でも大事です。一つの事に向かっていったというものは、すごく大きかったと思います。

真面目な話ばかりでしたので、少しお金の話をしようかと思えます。皆さんもこれから仕事をして、お金を稼いでいくと思えます。野球選手はみんなお金持ちだなと思えている人、多いと思えます。大谷選手はすごいですね。来年は 50 億になるとか、とんでもない金額が出ていますが、日本のプロ野球選手で 1 番貰っている選手で 7~8 億円くらいだと思います。いま日本のプロ野球の平均の給料、想像つきますか？実際に平均は 4174 万円です。年俸にしたらすごい金額になりますが、あくまでも上がらざる金額で、下の給料は育成選手で 240 万円です。結果を残せばすごくお金はもらえますが 1 年の活躍だけでは給料は上がりません。2 年、3 年と積み重ねていって給料がどんどん上がっていきます。プロ野球には最低保証という制度があります。最低保証とは 1 年間で、1 軍の選手は 1600 万円が最低保証です。例えば 1 千万円の選手が 600 万円の差額がありますね。1 年間 1 軍にいたら差額の 600 万円はもらえます。給料が 600 万円の選手だったら 1 年間 1 軍にいれば 1 千万円もらえます。そういう制度もプロ野球にはあります。あとはボーナスもあり、ドラゴンズでいうと、1 試合勝つと 40 万円のボーナスが皆で取り合います。野手、ピッチャー・バッテリーが 40 万円ですからドラゴンズは僕がやっていた当時は、1 試合で 80 万円を取り合います。それを 10 勝した時にボーナスとしてもらえるので、僕がクリンナップを打っている時で、7,80 万円もらえることができました。ただもらえるのは一部だけの選手です。ですからプロに入るのも厳しいですが、そこで生き残るのも厳しいです。



皆さん携帯はスマホですよね。僕もスマホで暇さえあればスマホでニュースを見たりしています。携帯が友達かと思うくらい触ってしまいます。その中で一つ気を付けてもらいたいことがあります。携帯の情報は僕もそうでしたが結構信じますよね。実際僕もそうです。確かに合っていることも多いです。多いですがそれがすべてではないです。

僕は今までのプロ野球選手何万人という中で、2000 本打った最年長になります。43 歳近くで 2000 本になりました。30 歳でレギュラーを取って 13 年目に 2000 本打ったんですが、中々ない数字です。山本昌さんは 50 歳まで現役をしています。人間の肉体は 25 歳がピークになり、それから落ちていくと言われていますが、山本昌さんは 25 年も逆らっています。ですから今まで常識だと思っていたことが案外常識じゃないんです。皆さんは色々な夢があって情報として調べると思いますが、参考にするのはいいと思います。ただそれは自分が経験してやっていることではないです。このデジタルの時代で、色々な情報があふれています。あまり鵜呑みにして決めつけてしまうとそれ以上自分が伸びる力がなくなると思えます。それぞれの夢があると思いますが、細かい事にとらわれずに、自分の道、自分流、自分を超えていく、自分はこのやり方、それでいいと思います。自分のやり方に自を持ってやってもらえればいいと思います。僕も常識がこうだという部分が生活の中ですごくありました。ただそれ以上に突き抜けるなら常識の範囲で動いてから、中々自分流とい

うものは出来てこないんじゃないかと思えます。

私はいま50歳です。まだ色々なやりたいこと、夢があります。皆さんはまだ18, 17, 16歳ですね。挑戦する時間はすごくあります。ただ時間の進みは全員一緒です。この時間すごくある皆がうらやましいです。その時間を無駄にしないで、自分のやりたいことや、そういったものがあれば全力で時間を大事にしたいと思います。

沢山の経験の中で伝えたい事はあったんですが、質問があるという事で、僕の講演はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。

### 質問コーナー

①進路を決める際、一番の決め手になったのは何ですか？プロ野球選手以外に夢はなかったのですか？

幼少期の頃からプロ野球選手になる事しかなかった。プロ野球選手以外なかった。

②夢や目標がない時、どうやって見つけたらいいですか？

自分が好きなことが仕事になる。今は色々なことが職業に成り立っている。僕の周りでもユーチューバーになっている人もいます。どんな事でもやってみると可能性が出てくる。

③一番手強かったピッチャーは？

3位に田中将大投手、2位はダルビッシュ有投手、1位は大谷翔平投手です。1年目は160キロでもまだ打てましたが、メジャーへ行く最後の年は手が付けられないほど、バットに当たらないんじゃないかと思うくらいでした。

④野球を続けるにあたって親には反対されなかった？

全くなく応援してくれました。母はソフトをしていたので援助してもらった。ただ試合後に指導がありました。

⑤自分の目標に対してどのようなことをモチベーションに？

独身の時は自分の為、結婚すると家族の為に頑張りました。40歳を過ぎると筋肉が固いのでトレーナーに試合前に1時間マッサージをしてほぐしてもらいました。試合前にバッティングコピッチャーと一緒に練習をし、相手チームのデータをもらってレクチャーをして、試合前に色々なスタッフとかかわります、そういった方は僕たちの味方なので、味方の為に頑張りたいという風になりました。

### ニコBOX

### ニコBOX委員会 鷲見馨二君

小島君 本日の例会、よろしくお願ひします。

松森君 力を合わせて高校生に夢を与えましょう。

大村君 和田一浩氏の来校を記念して。

藤代君 いよいよ講演会の日が来ました。清水君、色々準備ご苦労様。北校の校長先生をはじめ、お世話になります。本日はよろしくお願ひします。

山下君 和田一浩氏の講演楽しみです。北高生の皆さん、本日はよろしくお願ひします。

寺田正実君 準備ありがとう。あとは本番ですね。頑張らましよう。

佐藤君 本日、楽しみにしていました。司会ドキドキです。

山口君 成功させよう講演会。繋がろうロータリーの輪。

麦島君 久々の例会参加となります。和田新コーチの講演会、開催おめでとうございます、楽しみにしています。

井俣君 本番の日がやってきました。楽しみたいですが、緊張しています。

清水君 本日はよろしくお願ひします。

鷲見君 清水委員長・委員会の皆様今日はよろしくお願ひします。先日の「しろとり夢まつり」での募金活動、子供達が自ら募金してくれました。郡上の未来は明るいと思ひます。

若尾君 本日の講演会、皆さんで是非成功させましよう。よろしくお願ひします。

同文 寺田澄男君、和田良一君、羽土君、野島君、石徹白君、原君、美谷添里恵子君、畑中君、旭君、和田智君、遠藤君

### 次回行事予定

11月25日 IDM (ホスト:羽土洋司君)

11月27日 IM (関市)

### 出席報告

出席委員会 井俣愛美君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第2084回	32名	22名	6名	3名	80.65%	1名
第2085回	32名	25名	5名	1名	83.87%	1名